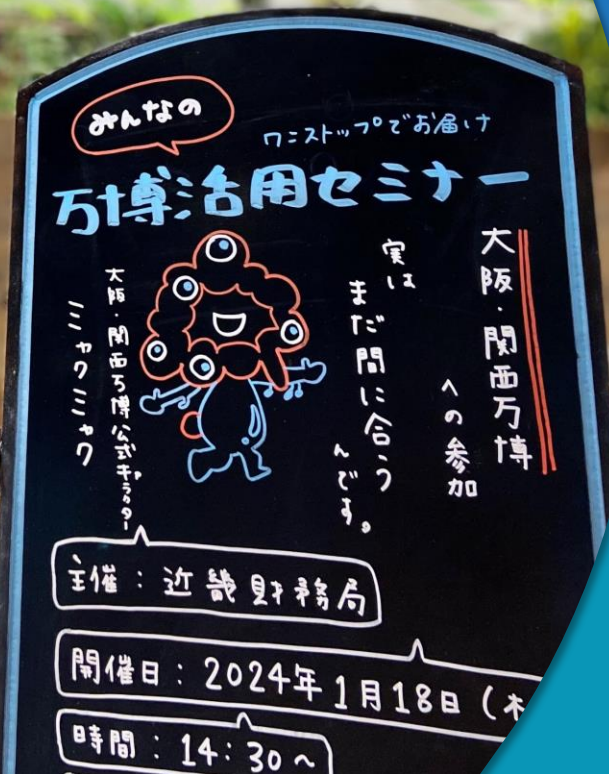


2024.1.18 Thu.
ワンストップでお届け

みんなの

万博活用セミナー

VOL.119
CHIHOMEN NEWS



主催：近畿財務局
後援：（公社）2025年
日本国際博覧会協会
場所：QUINTBRIDGE

企画背景

ヒアリング

金融機関等へのヒアリングで現状を把握

万博に関心はあるけど、なにをすれば良いのか…

多くの事業者が万博に関心はあるものの、具体的な参画・活用方法を知らない状況であると金融機関から聴取。

万博参加メニューの募集が終了しつつある

万博活用方法の情報を求める事業者は多いとの声がある中で、万博参画メニューの募集が終了しつつある現状。

今後募集されるメニューの詳細が知りたい

概要説明会は他でも開催されているが、参加メニュー・申込方法の詳細は博覧会協会のHPでしか確認できない状況。今後募集される参加メニューに絞って詳細が聞きたい。

プラン

ニーズを元に、企画を検討

事業者が参画・活用できるメニューを紹介

万博参加に意欲がある事業者がチャンスを逃さないよう、事業者や金融機関等へ、これから参画・活用できるメニューに絞って紹介。

当局も登録している共創チャレンジに着目

数あるメニューのうち、特に万博会場への参加可能性が高く、幅広く活用できる「TEAM EXPO2025」プログラム・共創チャレンジを主軸に。

万博会場出展以外の万博活用方法も提示

万博開催前や、万博会場外での参画・活用方法も提示し、事業者の万博への門戸を広げて参画をさらに支援。

アイデア

企画内容をブラッシュアップ

共創チャレンジの活用方法を複数提示

共創チャレンジにおける会場参加以外の活用方法として「TEAM EXPO ENGINE」を紹介し、出口を複数提示。

事業者・自治体からの視点もプラス

万博出展を目指す事業者から、事業者から見た万博の可能性や参画の意義を紹介。自治体と連携した万博参画方法も提示し、万博への門戸をさらに広げる。

ワンストップで万博への参画を支援

共創チャレンジワークシートを作成し、共創チャレンジ創出のきっかけを提供。第2部では各登壇者への個別相談会を企画し、ワンストップで参画を支援。

当日の様様

近畿財務局
関口局長



開会挨拶 近畿財務局 関口局長

大阪・関西万博は関西全体にとって大きなチャンス 万博を契機に地域の活性化につなげていきたい

関西では、来年4月にいよいよ大阪・関西万博が開かれます。この万博は本当に関西全体にとって大きなチャンスだと思います。国内外から3,000万人近くの来場者が見込まれており、大企業のみならず、中小企業の皆さま、あるいはスタートアップの皆さま、自治体の皆さまにとっても大きなチャンスではないかと思っています。

我々近畿財務局としても、万博の成功に向けて機運の醸成を図っていくとともに、万博を契機に地域の活性化につなげていきたいと考えています。

千載一遇のチャンスを生かさない手はない 万博への門戸は、まだ開かれている

万博という千載一遇のチャンスを生かさない手はないと思います。万博への門戸は開かれており、万博へ参加するメニューはまだ数多くあるということ、ぜひとも多くの方々にこの機会に知っていただきたい、そんな思いで今回のセミナーを企画させていただいております。

このセミナーで、皆さんにとって大阪・関西万博への参加という新しい目標が生まれ、そして万博を通じて、未来へとつながっていく、そんな流れになっていくことを期待しています。



第1部 説明会

事業者向け万博参加メニュー

(公社)2025年日本国際博覧会協会
広報・プロモーション局 企画部 共創推進課 課長代理 深澤 一宏氏

理想とする未来社会を共に創り上げていく 「TEAM EXPO 2025」プログラム

国内外における多様な参加者による参加型プログラム。参加方法は2種類。

- ▶ 共創チャレンジ
未来に向けた活動を所属・分野問わず登録可能。2名以上の個人も可。
- ▶ 共創パートナー
共創チャレンジの支援・創出を行う。



万博会場への参加、 万博に向けた活動の発信、 幅広い利用価値がある。

本プログラム参加者は、万博会場「TEAM EXPO パビリオン」へ参加申込可能。計3,000以上の参加枠があり、万博会場から世界へ情報発信できるチャンス。

本プログラムへ登録するのみであれば無料であり、今からでも万博に向けた各種活動を発信するツールとして使用するなど、幅広い利用価値がある。

共創・出会いの中で、 レガシーとして継承される 活動を生み出していく。

「TEAM EXPOパビリオン」		
「TEAM EXPO 2025」プログラム参加者 <small>※「TEAM EXPO 2025 MEETING」への参加必須</small>		
「TEAM EXPO 2025」プログラムでの取り組みを 発信するとともに会場参加者や来場者との対話を通じ 「未来への行動」を実現。		
ステージ発表&展示 (共創チャレンジ)	ステージ利用 (共創チャレンジ)	ステージ発表&展示 (共創パートナー)
約2,900枠	約130枠	約130枠
ステージ:約70㎡ 展示台:1×1×1.5m想定	約70㎡	ステージ:約70㎡ 展示台:1×1×1.5m想定
【入替制】 ステージ30分 展示1日	【入替制】 1.5時間	【入替制】 ステージ:2時間 (内)自社:0.5時間 共創チャレンジ:0.5時間×3 展示:1日×3台
22万円	33万円	88万円
※テーマウィーク(トラック4)の企画についても募集。		

TEAM EXPO ENGINE

株式会社マクアケ プロジェクト推進本部
執行役員 菊地 凌輔氏

マクアケのVISION
生まれるべきものが生まれ
広がるべきものが広がり
残るべきものが残る
世界の実現

共創チャレンジ登録で参加 「TEAM EXPO ENGINE」

アトラシイもの・体験の応援購入サービス「Makuake」を運営するマクアケより、「TEAM EXPO 2025」の参加者と共に創る共創プラットフォーム「TEAM EXPO ENGINE」を紹介。

「TEAM EXPO ENGINE」とは
TEAM EXPO 2025プログラムの参加者が描く未来の実現のために、アイデアを創造・発信する場を提供するプロジェクト。

「TEAM EXPO ENGINE」 参加特典と多様なメリット

- ① TEAM EXPO ENGINE特集ページへの掲載
- ② プロジェクト実施期間中にメールマガジンの配信最低1回を保証
- ③ 企業へのファンを集め、実績を重ねることで資金調達が容易に
- ④ 商品ニーズの把握を通して積極的な新商品開発をサポート



第1部 説明会

実際に参加を目指している事業者の取組

セレンディクス株式会社 COO 飯田 國大氏

日本初の3Dプリンター住宅メーカー 住宅産業の完全ロボット化

➤ 目指すは住宅ローンを0に

建設用3Dプリンターを用いた生産方式で価格は10分の1まで削減。屋根まで一体成型で作ることにより24時間以内の施工を実現。

➤ 世界初 住宅の水平分業モデル

自社施工は行わず、海外の建設用3Dプリンターや施工会社と協力。デジタルデータを共有し、世界中で同時に施工できることが3Dプリンター施工の強み。

事業者が万博に参加する意義

自社の取組みを世界にアピールするチャンス



「TEAM EXPO 2025」プログラムに参加して積極的に情報収集を行ったことで、万博の事業の一つである「未来社会ショーケース」の公募を知ることができ、応募。

その後、3Dプリンターでの建設技術の提案が新聞に取り上げられたことで問合せが殺到し、同社にとって大きな契機に。

2025年の大阪・関西万博で、自社の取組みを世界にアピールしたい。



八尾市の取組

八尾市 産業政策課 参事 米田 浩二氏



自治体唯一のパビリオン出展 八尾市の魅力を世界へ

自治体で唯一、大阪ヘルスケアパビリオンへ出展し、中小企業やスタートアップ企業支援を行う八尾市。

これまで、ブランド力の向上や地域全体での新商品開発など、様々な取り組みに力を入れ、企業の活躍の場を獲得・提供してきた。

この万博を通じ、八尾市の魅力を世界に発信し、地域一帯のさらなる活性化を目指す。

①みせるばやお

ものづくりの魅力を発信するイノベーション拠点。地域一帯が共創する場を設けることで、地域のものづくり企業の活性化に取り組んでいる。

②FactorISM (ファクトリズム)

ものづくりの現場を一般公開し、過程を体験・作り手の想いを体感してもらうことで、企業の魅力をアピールする取組。

人々が集まり、アイデアが生まれ、イノベーションすることでさらに人が集まる。この循環を持続化し、次の時代につなげていく。

事業者と共に様々な方法 で万博へ参画する自治体

「みせるばやお」「FactorISM」 で発想と革新に好循環を。

第1部 説明会

近畿財務局の取組

近畿財務局 総務部 総務課 皆木地域連携推進官



当局の共創チャレンジ ・万博の機運醸成 ・脱炭素支援

近畿財務局の持つネットワークを活かして地域課題解決を支援している中、地域活性化の手段として万博を活用すべく、共創パートナー・共創チャレンジに登録し各種企画を実施している。

万博の
機運醸成

- ✓ 金融機関向けセミナー
- ✓ 自治体向けセミナー
- ✓ 万博PRブース

共創チャレンジの活動を行う 中で感じたメリットや気づき

- チャレンジのタネは意外と多い
- 多様な参加者と繋がりが生まれる
- 自分たちの活動を更に活性化できる

共創チャレンジは、自社の業務から派生したものや発想の転換から生まれたものなど様々であり、自由度が高い。登録すれば博覧会協会のHPで情報発信ができ、そこから共創したいと連絡が入ることも。自分たちの取り組みを発信していくことで、活動のさらなる活性化にも繋がる。

万博、共創チャレンジを身近に 捉えて活用いただきたい

共創チャレンジの登録自体は無料・簡単で、業態・業種問わず多数の登録がある身近なもの。目的を同じにする者と出会い、新たな共創に繋がる可能性もあり、万博への関わり方の1つとして多様に活用できる。

本セミナーを元に、自社ではどんな共創チャレンジができるかを考えて、共創チャレンジワークシートを作成し、参加者との交流のきっかけにしていきたい。

相談会・交流会

交流会では、事業者や金融機関など所属の垣根を超えて情報交換や名刺交換をされていました。

参加者からは、「万博に向けた取組について意見交換ができ、今後の取組の参考になった」との声が寄せられるなど、満足度の高い場となりました。



相談会では、各登壇者の相談会ブースを設置し、個別相談ができる場を設けました。

各ブースに列ができるほど盛況で、博覧会協会のブースでは第1部で作成した共創チャレンジシートを元に、共創チャレンジ登録の相談をされる様子も伺えました。

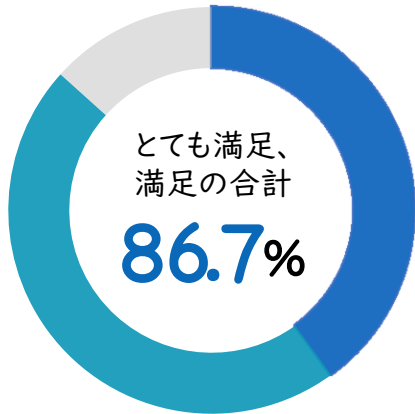


第2部 相談会・交流会

参加者からの声

アンケート結果

セミナー全体満足度



- 大阪万博について、我々がどう関われるのか、どう関わって行けば良いのかがよく理解できた。
- 万博参加の手法や、実際に参加している事業者の話を直接聞くことができ、知見を得ることができた。
- これまでよくわかっていなかったTEAM EXPOの概要を知ることができてよかった。
- フューチャーライフエクスペリエンスやTEAM EXPOパビリオンなど、事業者の参加枠に関する情報を得てよかった。
- 他金融機関の方と関西万博の取り組み状況について意見交換できた。また、他企業の取り組みについて話を伺え、今後の取り組みの参考になった。

さいごに

- ◆ 本セミナーを聞いて、共創チャレンジに「今後登録する」「登録を検討する」とアンケートで複数回答いただいたほか、セミナー終了後には、参加者から博覧会協会に対して共創チャレンジの登録相談が5件以上寄せられるなど、大阪・関西万博の活用・参画支援及び、機運醸成の第一歩となりました。
- ◆ 「地方公共団体等含め意見交換等を行いたい、金融機関のつなぎ役となって頂けたらありがたい」などのご要望もいただき、今後取組を行うにあたっての参考にできたらと考えています。
- ◆ 当局では引き続き、万博機運醸成や地域連携の取組を行ってまいります。

近畿財務局・総務課地域連携推進係

☎06-6949-6390 ✉kinzaikikaku@kk.lfb-mof.go.jp
ちほめんNEWSのバックナンバーは下記URLをご覧ください
<https://lfb.mof.go.jp/kinki/file/soumu/pagekinkihp006000073.html>